

# 継続事業評価調書

## 【道路事業】

主要地方道 三田西インター一線

県土整備部

土木局 道路街路課

投資事業評価調書（継続：再評価〔第2回〕）

【評価調書様式3】

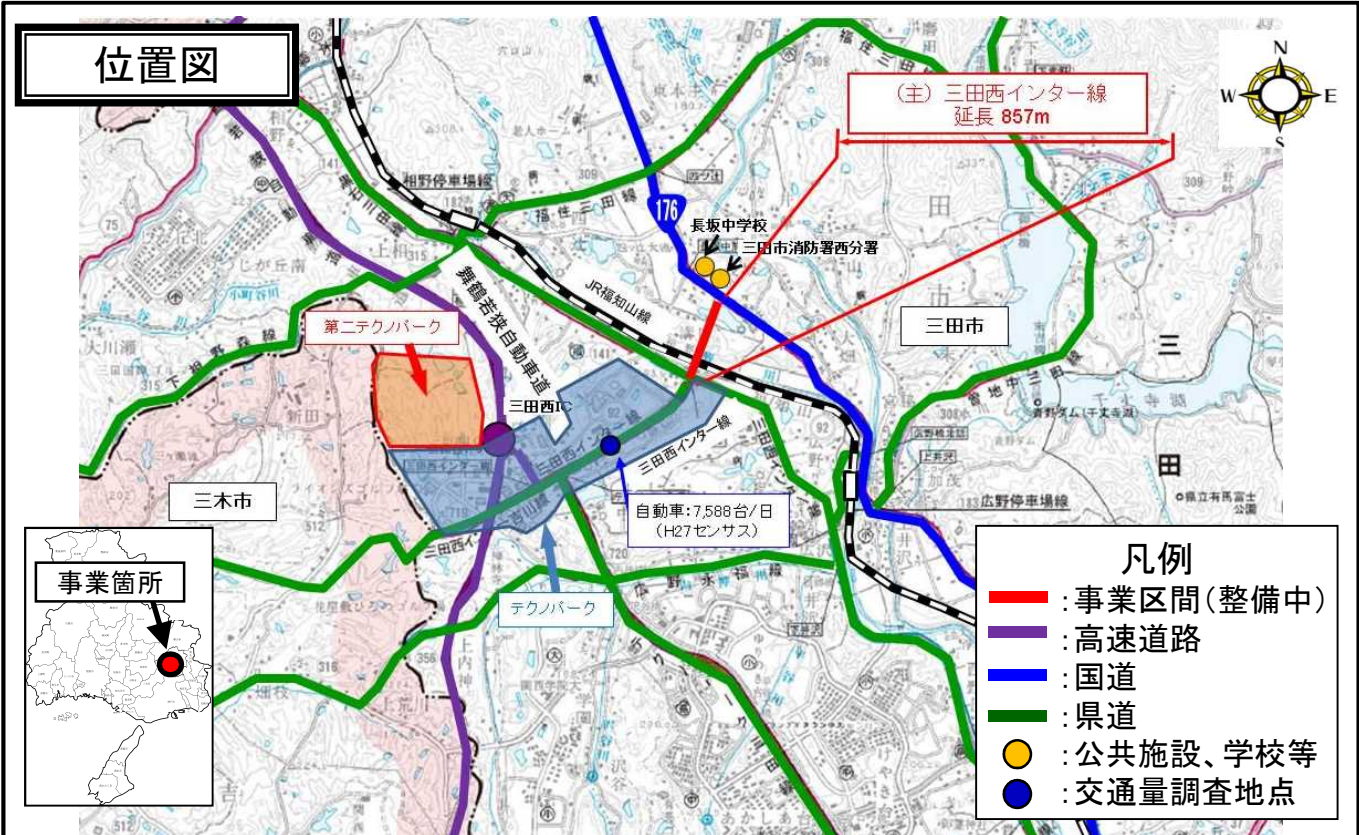
部課室名	県土整備部土木局 道路街路課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	道路街路課長 神山 泰 (県道班長 高田 隆史)	内線	4362 (4376)
事業種目	道路	新規評価年度	平成17年度	現計画	前回評価時点
事業名	道路改築事業 主要地方道 さんだし 三田西インター線	事業採択年度	平成18年度	総事業費	30億円
		着工年度	平成20年度	内用地補償費	10億円
		再評価年度	平成27年度	完成予定年度	令和4年度
事業区間	さんだしみぞくち ながさか 三田市溝口～長坂			進捗率 (用補進捗率)	50% (100%)
				残事業費	15億円
					22億円
事業の目的			事業内容 ( ) 前回評価時点		
<p>本路線は、国道176号と舞鶴若狭自動車道三田西 I.C を連絡する重要な幹線道路である。</p> <p>○高速道路へのアクセス向上 国道176号と舞鶴若狭自動車道三田西 I.C をバイパスで直結することにより高速道路へのアクセス向上を図る。</p> <p>○安全で円滑な交通の確保 JR 福知山線と立体交差するバイパス整備により、安全で円滑な交通を確保する。</p> <p>○地域間の交流・連携の促進 国道176号と県道テクノパーク三田線・黒石三田線を連絡することにより、開発地(工業団地、ニュータウン)との連携を強化し、発展に寄与する。</p>			<p>【延長】857m</p> <p>【構造規格】第4種第1級</p> <p>【幅員】 計画：2車線 両側自歩道 3m 車道 6.5m [全幅 15.5m] 現況：1車線 歩道無し 車道 4.0m [全幅 5.0m]</p> <p>【計画交通量】10,000台/日[R12年予測] (10,600台/日[R12年予測])</p> <p>【現況交通量】 自動車：7,588台/日[H27センサ] (7,488台/日[H22センサ])</p> <p>【負担割合】国55%、県45%</p>		
事業を取り巻く 社会経済情勢 等の変化	<p>① 平成22年より北摂三田第二テクノパークの開発が進められており、これまで16社の企業立地が進んだ。企業の物流機能強化の観点から国道176号と北摂三田第二テクノパークのアクセス強化に寄与する当バイパス整備の必要性が増している。</p> <p>【前回評価時点からの事業計画・総事業費・工期の変更概要】</p> <p>① 用地買収において、取用手续に不測の時間を要したため、完了予定年度を令和4年度に変更する。</p>				
進捗状況	<p>① 進捗率は事業費ベースで50%(令和2年度末予定)、用地取得済</p> <p>② 令和元年度より橋梁下部工事に着手</p>				
評価視点	評価結果の説明				
審査会意見及び 対応方針 (H27再評価)	【審査会意見】事業継続は妥当 地域住民へ計画内容や事業の進捗状況を密に情報発信することにより、事業の円滑な推進に努められたい。		【対応方針】 住民説明会の実施やパンフレットによる事業説明を実施し、早期事業完了を目指す。		
(1)必要性	<p>① 国道176号と舞鶴若狭自動車道三田西 IC を直結するバイパス整備により、大きな迂回を余儀なくされている大型車などの広域交通の集約と高速道路へのアクセス向上を図り、新たな道路ネットワークを形成する。</p> <p>② JR 福知山線と立体交差するバイパス整備により、安全で円滑な交通を確保し、踏切事故防止や消防・救急救命活動の強化が図られる。</p> <p>③ 国道176号とウッディータウン、カルチャータウン、つつじヶ丘団地等を結ぶ新たな東西幹線となり、地域の交流・連携強化が図られる。</p>				
(2)有効性 ・効率性 (執行環境状況)	<p>① テクノパーク、第二テクノパーク内の企業は物流の効率化が図られるため、早期整備が期待されている。</p> <p>② 費用便益比 B/C=1.7(全体) (前回評価時点 B/C=1.8)、B/C=6.6(残事業)</p>				
(3)環境適合性	<p>① 通過交通がバイパスに転換されることにより、大型車等による交通騒音や排気ガスなどの沿道環境が改善される。</p> <p>② 歩道舗装には、雨水が地中に浸透する透水性舗装を採用し、地下水涵養を図る。</p>				
(4)優先性	<p>① 地域の防災道路強靱化プランに位置づけており、災害に強い強靱な県土づくりを進める上でも早期整備が必要である。</p>				
再評価の結果	継続	左の理由	<p>① 工業団地の企業立地が進み、事業の必要性は事業採択時と変わっておらず、当該区間の早期供用を望む地元の声も強いことから、継続して事業を実施する必要がある。</p>		

事業進捗状況概要図（継続：再評価〔第2回〕）

事業名	道路事業	路線・河川名	主要地方道 三田西インター線
	事業進捗状況・予定		整備効果
<p>全体 (H18～R4)</p>	<p>【事業費＝30億円】 延長 857m 工事：土工部 L=637m、橋梁部(JR 交差)L=220m 用地：約 18,000m<sup>2</sup></p>		
<p>前回再評価まで (実績)</p>	<p>【事業費＝8億円】 ① 事業進捗率 27% (用地進捗率 91%) ② 用地取得面積約 15,100m<sup>2</sup>(面積ベース進捗率 84%)</p>		
<p>過去 5年間 (H28(2015)～ R2(2020))</p>	<p>【事業費＝6億円】 ① 業進捗率 50% (用地進捗率 100%) ② 用地取得面積約 2,900m<sup>2</sup>(面積ベース進捗率 100%) 平成 31 年度 用地買収完了</p>		
<p>今後 2 年間 (予定) (R3(2021)～ R4(2022))</p>	<p>【事業費＝15億円】 ① 令和 4 年度 全線供用予定</p>		<p>① 高速道路へのアクセス向上 ② 安全かつ円滑な交通を確保 ③ 地域間交流・連携の促進</p>



# 道路事業 主要地方道 三田西インター線



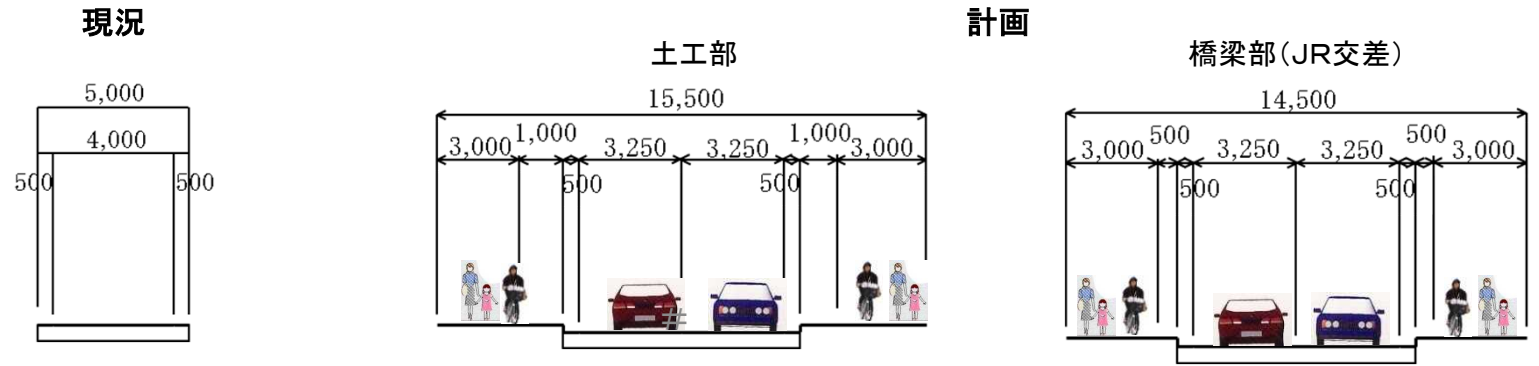
## 目的

- ① 高速道路へのアクセス向上
- ② 安全で円滑な交通の確保
- ③ 地域間の交流・連携の促進

## 事業概要

事業区間 : 三田市溝口～長坂  
 総事業費 : 30億円  
 内用地補償費 : 10億円  
 事業期間 : H18～R4  
 事業概要 : バイパス  
 延長 : 857m  
 費用便益比B/C : 1.7(全体) 6.6(残事業)

## 横断図



## 事業の必要性・優先性

- ① 国道176号と舞鶴若狭自動車道三田西ICを直結するバイパス整備により、大きな迂回を余儀なくされている大型車などの広域交通の集約と高速道路へのアクセス向上を図り、新たな道路ネットワークを形成する。
- ② JR福知山線と立体交差するバイパス整備により、安全で円滑な交通を確保し、踏切事故防止や消防・救急救命活動の強化が図られる。
- ③ 国道176号とウッディータウン、カルチャータウン、つつじヶ丘団地等を結ぶ新たな東西幹線となり、地域の交流・連携強化が図られる。

## 平面図



### 凡例

- : 事業区間(整備中)
- : 高速道路
- : 国道
- : 県道
- : 公共施設、学校等

## 現況写真

### ① 大型車両の離合が困難



### ② 大型車両の離合が困難

